



風しん患者が急増しています！

風しんとは

風しんウイルスによる感染症です。感染経路は、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる「飛沫感染」です。2～3週間の潜伏期間の後、発熱、発しん、リンパ節腫脹の症状が出現します。患者から周囲の方へ感染させる期間は、発しん出現の前後1週間程度です。基本的に予後は良好ですが、妊娠初期の妊婦が感染すると胎児に感染し、先天性風しん症候群（※1）を起こすことがあります。昨夏以降、全国的に風しんが流行しており、予防接種を受けていない人や、これまで風しんにかかったことがない人などは、注意が必要です。

※1 先天性風しん症候群

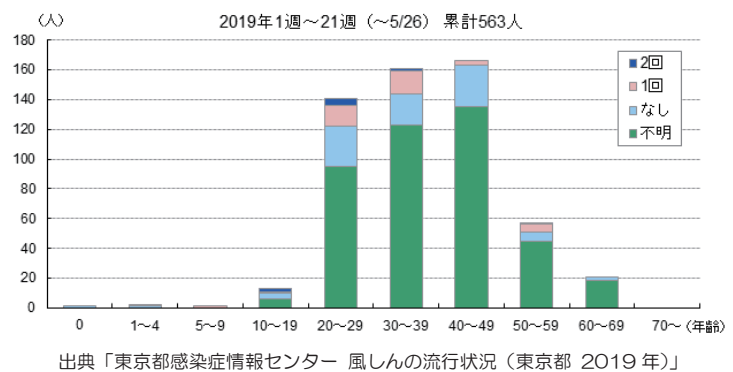
風しんウイルスが胎児に感染し、出生児に先天性心疾患、難聴、白内障などの症状を起こします。

予防のポイント

- 有効な予防法は、風しんワクチンの接種です。
- 19歳以上で妊娠を予定または希望する女性は、抗体検査とワクチン接種をご検討ください。（※2）
- なお、妊娠中の方は、ワクチン接種を受けることはできないため、同居者の予防は特に重要です。
- これまで風しんの定期接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性を対象に、抗体検査やワクチン接種の機会が設けられました。（※2）

※2 対象要件や手続き、実施医療機関については、[お住まいの市へお問い合わせください](#)。

年齢階級別・ワクチン接種歴別 風しん患者報告数



受診のしかた

風しん患者と接触した後に、上記の症状があり風しんが疑われる場合は、[事前に医療機関にそのことを電話で連絡してから](#)受診してください。

風しんについて詳しく知りたい方は

- 🔍 風しんの流行情報は [東京都感染症情報センター 風しん流行状況（2019年）](#) で [検索](#)
- 🔍 風しんについての情報は [厚生労働省 風しんについて](#) で [検索](#)

【この記事に関するお問合せ】 保健対策課 感染症対策担当

このマークは、目の不自由な方などのための「音声コード」で、コードの位置を示すために切り込みを入れています。専門の読み上げ装置で読み取ると、記事内容を音声で聞くことができます。

